

教えの庭から

世界では、プーチン大統領のウクライナ侵攻により信じられない情勢になっています。「命が大切」をなんと考えているのでしょうか。「命が大切」であるとは、誰もが知っている当たり前のことです。この聞き慣れた言葉は、「今更そんなこと分かっている」と聞き流しているのが常でした。しかしながら、私たちが、この言葉の本当の意味を知ったのは、娘の大切な命を亡くしてからでした。22年前、二女真理子(鳥取大3年生、20歳)が、飲酒運転の車に正面衝突されて、理不尽に即死しました。これを契機に「娘は死んでどこへいったのか」と命への問いを抱えるようになりました。これは、遺された

命が大切

出雲市斐川町・仁照寺住職 江角弘道氏

者たちが、必ず直面する命への問いです。

命は死んでどこに行くか 50代さかのぼれば、112589990684262

という問いに直面すると、4人と膨大な人数となりま

「命はどこから来たのか」 一人でも欠けたら、現在の

という問いに思いが行きま 自分はありません。命のバ

す。自分の命は自分で生ん トンタッチがうまく行った



挿絵 平尾恵郷

だものではなく、父母から生まれたものです。父母は、命は、「自分自身のもので、また、それぞれの父母からあると共に、縁ある全ての生まれて来ています。5代人々のもの」と言えます。さかのぼれば32人、10代さ一人一人の命が大切で、絶かのぼれば、1024人、対的な存在で尊いのです。

娘の死後、多くの方から「命は大切だ」と聞かされた。お悔やみの言葉を頂きまし。その中で、お言葉を頂いた後に、「子どもさんは何人いらっしゃいますか?」と問われる方が数人いらっしゃいました。その言葉の裏に、「残った2人の子どもをしっかりと育てれば、それが真理子の代わりになるのでは」という二重の意味を感じ取り、一人の命は、絶対的な存在で、代わりの存在はどこにもないと思い、悔しい思いをしました。このことを命が大切であることを心底の大切さを学ぶ教室(命の授業)」の中で必ず話しています。

講演の度に頂く生徒の感想文の中には、「被害者も加害者も出さない社会にしたい。一人一人の命が大切で、尊さをしっかりと考え、理解することだ」と思っています。命に代わりなんてものはない。一人一人が絶対だ。この言葉は私に強く印象に残った言い方を厳守してください。

葉です」とあり、さらに、「『命は大切だ』と聞かされてもなかなか心に残るのには難しいと思います。自分には関係のない話と違って、しかも、今回話を聞いて、いつ何が起こるか分からない、他人事ではないと気づきました。命の大切さを分かっているつもりだったのかもしれない。そのぐらゐ今回の教室は私にとって一人の命は、絶対的な存在で、代わりの存在はどこにもないと思い、悔しい思いをしました。このことを命が大切であることを心底の大切さを学ぶ教室(命の授業)」の中で必ず話しています。

味を気付いてほしい、そして車の運転者は、被害者の深刻な苦しみ、遺族の悲しみなどを理解してください。そして、「自分は事故の加害者にも被害者にもならない」という決意を、今、酒を飲んでは私に強く印象に残った言い方を厳守してください。